Ωあなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 5月号

平成 15 年度 平塚市史料展

平塚市埋蔵文化財速報展



真田・北金目遺跡群 縄文時代の水場遺構 現地見学会 (平成 14 年 5 月 6 日)

平塚市内で実施されている埋蔵文化財の発掘調査では、平成12年度に開催した「近年出土の考古資料」以降も大きな成果を上げています。今回の展示では最近の出土資料を展示・公開するほか、記念行事「平塚市遺跡発表会」において発掘調査の模様をスライドとともに紹介します。また期間中の2回、職員による展示解説を予定しています。

展 示 5月17日(土)~6月8日(日)会場:特別展示室

展示解説 5月18日(日) 13:30~14:00

5月24日(土) 13:30~14:00

遺跡発表会 6月 1日(日) 13:00~16:30 会場:講堂

平成 15 年度 平塚市史料展 平塚市 埋蔵文化 財速報展

ここが見どころ!

「平塚市埋蔵文化財速報展」では、真田・北金目遺跡群、 万田貝塚、湘南新道関連遺跡群など、平成12年度以降 に発掘調査されたものを中心に、平塚市内で出土した 考古資料を展示・公開します。

真田・北金目遺跡群

市内の北金目台地では真田・北金目地区区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査が続けられています。平成14年に事業区域の西端で縄文時代の水場遺構が発見され、報道されたのは記憶に新しいところです。縄文土器片やトチをはじめとするドングリ類の殻が多く出土していることから、「水場」あるいは「浄水施設」として利用していたと考えられます。西側に隣接する王子ノ台遺跡(東海大学構内)では同じ時期の集落が確認されており、「集落」と「水場」の関係をうかがうことができる資料です。史料展では東海大学の協力により、集落内の資料と水場の資料を一同に公開できることになりました。

弥生時代末期の方形周溝墓群、奈良・平安時代の集 落などの資料も目白押しです。



万田貝塚

万田貝塚は平塚市内で最も早くから認識されていた 遺跡の一つです。大正14年には道路工事中に貝や土 器が出土しました。調査の結果、「我邦先史考古学のク ロノロジー(年代学)樹立に確実な一資料を得た」と 評されましたが、その後貝塚は既に消滅したとされ、「幻 の貝塚」と言われてきました。しかし、平成12年下 水道建設に伴う試掘の際、道路面の下1.5 mで貝層を 発見、貝塚の存在が確認されました。工事は工法を変 更し、貝塚は保存されました。 そして平成15年2月から3月にかけて、貝塚の広がりを確認するための試掘調査が実施され、多くの土器や貝殻、獣骨が出土しました。一つ一つの資料の分析については今後に期待がかかりますが、今回は発掘されたままの資料をご覧ください。



湘南新道関連遺跡群

四之宮地区の湘南新道予定地では平成12年以降発掘調査が続けられています。道路のルートは相模国府域と推定される地区の中央を東西に貫いていますから、発掘調査では古代(奈良時代から平安時代)の国府集落の様相を示す資料が多く出土しています。

平塚市遺跡発表会

平塚市文化財保護委員を務める近藤英夫氏(東海大学教授)による記念講演「市民と文化財」を予定しています。さらに、調査の担当者による遺跡の解説を行います。 史料展で公開した資料とその発掘調査の様子を中心に、スライド等を用いて解説します。申し込み、参加費は必要ありません。

展示解説

平塚市の学芸員による展示の解説を行います。申し 込み、参加費は必要ありません。

鉱物コレクションと鉱物目録

■ 「自然新着資料展」での鉱物展示

寄贈品コーナーは5月1日から6月8日まで自然分野の新着資料を展示します。地質分野では、昨年暮れに寄贈された、配野睦夫氏の鉱物コレクションを陳列します。

鉱物同志会会員である配野氏は全国を巡って鉱物を 収集されてこられ、数年来の鉱物整理の終えて、少し でも多くの方々に鉱物の魅力を見ていただこうと、で きるだけ良い標本を選んで71点の鉱物標本を寄贈さ れました。この中には相模川流域の鉱物も含まれ、現 在では採集困難なものや産出が稀なものが多く含まれ ています。金鉱石も数点含まれています。鉱物の美し さやその魅力を感じていただけたらと思います。

なお、同氏の寄贈の仲介や鉱物整理にあたっては、 渡辺文彦氏にご協力いただきました。

■ 博物館の鉱物コレクション

当館の鉱物コレクションは、このようなアマチュア

の方々によるコレクションが約7割を占めています。 故山本亮一氏・木島勇氏・原田明氏・渡辺文彦氏・加藤邦明氏・和田山倍雄・悦子夫妻のコレクションがあります。最近では渡辺・加藤・和田山氏が「相模川の生い立ちを探る会」の会員となられ、鉱物資料が充実するとともに、野外調査での鉱物の観察も大変詳しくなってきました。

■ 鉱物目録の刊行

昨年から上記の3名の方々の多大なご協力により、博物館の所蔵鉱物標本を整理し直し、3月末に「平塚市博物館所蔵地質資料目録2」(鉱物)を刊行しました。博物館で所蔵する1625資料、2608点の鉱物を分類整理し、鉱物分類別の目録の他に、地域別にも検索できるようにし、地質情報や位置情報も入れ、利用しやすいように配慮しました。博物館受付にて900円で実費販売しています。是非、ご活用ください。

津軽三味線コレサートが催されました

3月28日、「相模の家」を会場にして、山内善一氏の津軽三味線コンサートが催されました。展示室での初めてのコンサートでしたが、約80名の参加者が民家の中、いろりを囲んで、太棹の演奏に耳を傾けました。



山内善一氏

いろりを囲んでの演奏

博物館カレンダー

2003年5月の行事

|寄贈品コーナー「自然部門新資料」(~6月8日) |展示室 展示解説ボランティアの会 特研室 2 余 古文書講読会 7 水 平塚社寺調査会 田 0 星を見る会 屋 上 天体観察会 屖 上 石仏を調べる会 8 木 古 土 5 9 金 古文書講読会 講 堂 5 10 土 0 漂着物を拾う会 虹ヶ浜 地質調査会 清川村 5 11 H 水辺の楽校生きもの調べの会 水辺の楽校 野外 古代遺跡を探す会 5 14 水 プラネタリウム幼児投影(~7月4日) プラネ 5 15 木 展示解説ボランティアの会 特研室 5 16 金 古文書講読会 講堂 5 17 土 平塚市史料展(社会教育課)(~6月8日)特展室 ┟☆ 民具に親しむ会 科学室 特研室 天体観察会 火星学習会 5 18 🖯 0 ろばた話の会 展示室 山北町 相模川の生い立ちを探る会 科学室 5 21 水 裏打ちの会 5 22 木 石仏を調べる会 車 土 古文書講読会 5 23 金 講 堂 5 24 土 空襲と戦災を記録する会 特研室 地質調査会 科学室 5 25 日 民俗探訪会「金目川・水の旅」 金 目 科学室 みんなで調べよう「タンポポ調べ」 5 30 金 古文書講読会 科学室 5 31 土 天体観察会 火星学習会 講 堂

2003年6月の行事

6	4	水		平塚社寺調査会	豊	田
6	5	木		展示解説ボランティアの会	特码	开室
6	6	金		古文書講読会	講	堂
6	7	土		地質調査会	科乌	室
6	8	日		民俗探訪会「五所神社祭礼」	鎌倉	市
6	10	火		全館燻蒸休館(~6月19日)		
6	14	土	0	漂着物を拾う会	虹点	ァ浜
6	19	木		展示解説ボランティアの会	特码	开室
6	20	金		古文書講読会	講	堂
			☆	寄贈品コーナー「歴史分野」(~7月30日)	展表	室
6	21	土	☆	プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」(~7月13日)	プラ	ラネ
				天体観察会 火星学習会	特码	开室
6	22	日		水辺の楽校生きもの調べの会	馬	入
				古代遺跡を探す会	野	外
6	26	木		石仏を調べる会	特码	开室
				植物誌調査会	野	外
6	27	金		古文書講読会	講	堂
6	28	土		民具に親しむ会	科等	室
			0	「空襲と戦災を記録する会	特码	开室
				自然の新聞を作る会	野	外
				天体観察会 火星学習会	講	堂

☆:展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) 〇:申込制 ③:自由参加 無印:年間会員制

若葉が目に染みる初夏を迎えました。相模川には若鮎が上ってきています。博物館も14日からプラネタリウムの幼児投影が七夕まで続き、若鮎ならぬ元気のいいちびっこが館内にあふれます。市内はもとより東は茅ケ崎、藤沢、西は大磯、二宮、小田原と、相模川を目指す鮎のように集まってきてくれます。博物館とちびっこたち、普段はそうお目にかかれない、ほほえましいにぎわいにひたれます。(編集子)

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「自然部門新資料」展 会 期:5月1日(木)~6月8日(日)

☆ 平成 15 年度平塚市史料展「平塚市埋蔵文化財速報展」

真田・北金目遺跡群、万田貝塚他、平成 12 年度以降のものを中 心に市内で出土した資料を展示・公開します。

会 期:5月17日(土)~6月8日(日)

会 場:特別展示室

☆ プラネタリウム「宇宙への道」

空想の世界だった宇宙旅行が現実のものになるまでには、

長く険しい道のりでした。その道を振り返ります。

期間:6月8日(日)まで

投影日: 土日曜日の 11 時と 14 時

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えた りします。

日 時:5月10日(土)9時30分~11時

場 所:平塚虹ヶ浜海岸

参加:自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎星を見る会「水星の日面経過を見よう」

水星が太陽の前を通過する現象「水星の日面経過」を望遠鏡で見ます。

日 時:5月7日(水)14時~16時

参 加:自由、当日博物館科学教室にお集まりください。

◎ ろばた話の会

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。 5月18日(日)(1)13時20分~(2)15時~

場 所:展示室民家 参 加:自由

●●全館くん蒸に伴う休館のお知らせ●●

- ・6月10日(火)から6月19日(木)まで、館内の 殺虫・消毒のため、くん蒸作業を行います。期間中 は館内には入れません。
- ・期間中は館へのご連絡、お問い合わせはなるべく電話をご利用ください。(電話 0463-33-5111)
- なにかとご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

あなたと博物館 29巻 2号 通算317号 発行 平塚市博物館 2500 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail.muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/